

さあハイタッチ! あいさつと笑顔、感謝の気持ちを大切にする乙女っ子!

栃木県小山市

活動名

乙女小放課後子ども教室
乙女っ子なかよし広場

関係する学校

小山市立乙女小学校

活動区分		※H25年度の実績(補助の有無についてはH26年度の状況)			
基本データ	土曜日の教育活動	コーディネーター数	子供の平均参加人数	開始年度	補助の有無
	学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	放課後子供教室	コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
		2人	60人	26日	有
コミュニティ・スクール	実施場所			開始年度	放課後児童クラブとの連携
	校庭、体育館、英語教室、PTA会議室	22年度		有	
	指定日	委員数	児童生徒数	学級数	

活動の概要

地元有志の方々が小山市立間々田公民館で不定期に子供対象のイベントを開催していたことから始まり、放課後の子供たちに安全安心に楽しく過ごすことのできる居場所を提供しようと奮い立ち、文部科学省・栃木県の補助を受け、平成22年11月小山市内2番目の放課後子供教室として「乙女っ子なかよし広場」を開設。

開催日は、原則として毎週木曜日の午後3時～4時の約1時間、実施場所は乙女小学校の校庭・体育館・英語教室など。

活動は自由遊びが基本で、校庭でスポーツや縄跳び等の外遊び、室内では宿題をしたり、カルタやオセロの他、手芸や折り紙など地域の人材を生かした創作活動も人気である。また、子供たちの要望や大人からの提案を積極的に取り入れて、変化と内容の充実を図っている。時には1年生歓迎レクリエーション・チャレンジランキング大会などの全員参加型のイベントも企画して、集団行動の楽しさと規律を守る重要性を理解させている。

参加児童数とボランティア数は増加傾向であり、子供と大人が学年・世代を超えてふれあうことのできる地域交流の場として「乙女っ子」が確実に地域に定着した。

● 特徴

【特徴的な活動内容】

- ・スタッフ・ボランティアは、学習意欲旺盛な方々で、昔遊んだ竹馬や独楽回し、竹細工や手芸、様々なレクリエーション技術等、多方面で会得した知識・技術を発揮し、子供たちとのふれあいに役立っている。また、地元大学のボランティアサークルにも協力依頼し、宿題やスポーツ・外遊び等で若い力を発揮している。
- ・乙女っ子は単に友達と遊ぶ場所ではなく、常に礼儀と感謝の気持ちを大切にする場として、乙女っ子に関わる友達、地域の大人、学校の先生等を敬い、共に楽しい時間を過ごせるよう心掛けている。その一例として、乙女っ子に來た時と帰る時に児童と大人は挨拶とハイタッチを交わして、児童と大人のお互いに距離を縮めて感謝の気持ちを伝えている。

【実施に当たっての工夫】

- ・開始1時間前にスタッフ・ボランティアは集合し、教室の準備後約30分間ミーティングを行う。前回の反省点や当日の注意事項の確認、新しい遊びやイベントアイデア等の提案など、毎回入念に話し合う。教室終了の際も、活動の内容報告とそれに対する課題・問題点を話しあい、スタッフ・ボランティア全員で情報を共有する。
- ・乙女っ子児童は事前登録制で、全員名前ホルダーをかける。児童はホワイトボードに示された活動場所の中から行先を選んでネームマグネットを貼ることで、スタッフは60人以上の児童の活動状況を把握する。スタッフ・ボランティアも共通の帽子とTシャツ等を着用し、乙女っ子の活動であることを児童・保護者・学校関係者等に分かるよう可視化している。
 - ・活動日には、保護者の「参加承諾」と「終了後のお迎え」を毎回義務付けている。また、学童クラブとも連携し、学童指導員によるお迎えや情報の共有もやっている。



チャレンジランキング大会

● 事業を実施して

乙女っ子に参加している児童からは、友達が増えた・大勢で遊べて楽しい・毎週楽しみにしているという感想が多い。また、子供が地域の中で挨拶をするようになった・親同士知り合いができたという保護者の声や、子供たちと一緒に遊んで元気を貰っているというボランティアの声が多い。乙女っ子は、子供のみならず保護者・地域の大人達がそれぞれに楽しむ場所として、地域で欠かすことのできない存在となっている。

● その他

乙女っ子の参加児童数は開設以来右肩上がり、友達の誘いで年度途中に加入する児童が絶えないことに、スタッフ・ボランティアは大変誇らしく思っている。ボランティア数も口コミ等で増えつつあるが、児童が増えるペースになかなか追いつかないのが嬉しい悩みである。



ボランティアさんに笑顔でハイタッチ!